

2021

総選挙

比例議席に届かず **しかし** 下を向いてはいられない!

公約実現へ頑張ります

「4つのチェンジ」は地球と子どもたちの未来への希望

10月31日に投・開票でたたかれた衆議院選挙——日本共産党は比例中国ブロックで17万3117票（得票率5.55%）を獲得しましたが、大平議席を回復することはできませんでした。大平よしのぶ元衆院議員をはじめ日本共産党は、公約実現と自公政治の転換めざし、新たなスタートを切っています。



岡山駅前では総選挙結果を報告し新たな決意を表明する大平氏ら

元衆議院議員

大平よしのぶ

日本共産党

おおひら・よしのぶ

【略歴】1978年広島市出身。広島市立舟入高等学校卒、広島大学学校教育学部卒。日本民主青年同盟広島県委員長など歴任。2014年12月の総選挙で初当選。衆議院議員1期（文部科学委員、災害対策特別委員、憲法審査会委員）、議席奪還を期す。現在、党中央委員。広島県府中町在住。家族は妻と一子。

街頭から結果報告

大平よしのぶ元衆院議員は投・開票の翌11月1日昼、同じく比例候補としてたたかった住寄聡美さんらと岡山駅前ではマイクを握り、「中国ブロックの議席回

復に至らず残念な結果に終わりました。悔しい思いでいっぱいですが、下を向いているわけにはいきません」「総選挙で訴えた『4つのチェンジ』は、地球と子どもたちの未来への希望です。公約実現へ頑張ります」と新たな決意を表明。

さらに、同日夕に中国地方5県をオンラインで結んだ「総選挙結果報告会」で来年に迫る参院選での党躍進を誓い合いました。

SNS発信で共感広がる

今回の総選挙で、大平元衆院議員と日本共産党、同党サポーターが、SNSを活用し、政策・公約や活動紹介などを積極的に配信。幅広い層の有権者に、日本共産党の政策や役割・魅力への共感を広げました。大平氏は、今後も積極的に発信を続けることにしており、友だち登録、フォローワーの拡大に力をお貸しください。

友だち登録
フォローを

野党統一候補が奮闘

日本共産党公認で松田さん

今回の総選挙では、日本共産党、立憲民主党をはじめ4野党と市民連合で「共通政策」を合意、共産と立憲両党の間で、政権合意がされ、各地で野党統一候補が奮闘・善戦しました。

中国地方では、山口2区の松田一志さんが、日本共産党公認で唯一の野党統一候補となり、現職防衛大臣との一騎



打ちで奮闘しました。（写真）

山口県では、4つの小選挙区すべてで市民と野党の共闘が実現。大平元議員は「山口県のような市民と野党の共闘を中国地方全体に広げるよう努力していきたい」と語っています。

大平喜信 元衆議院議員
いきいきニュース

2021年11月14日

発行 〒703-8288 岡山市中区赤坂本町1-31 日本共産党国会議員団中国ブロック事務所

日本共産党の大平よしのぶ元衆議院議員の活動と同党の見解を紹介します。